

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

信条

農業関連の総合企業として、グリーン事業のトータルプランナーとして農業及び園芸の発展に努める。「大同に生きる経営」を掲げ、社会に貢献する会社を目指す。

2 中長期の経営戦略

1. 国内農業への対応

野菜種子の品種開発で食料安定生産に貢献。緑肥作物・カバークロップで持続可能な生産体制構築に寄与。スマート農業の実装化と生分解性資材供給で省力化と環境負荷軽減を両立。

2. 海外農業への対応

タマネギ・キャベツ・トマト・カボチャを中心に東南アジア・南アジア等で品種導入。各地域の栽培環境に適した品種開発・普及を進める。異なる地域の採種で自然災害リスク分散し安定供給確立。

3. ハイテク・国際化推進

研究開発の推進とグローバル展開充実。イノベーションにより新しい価値創造で農業課題の解決に取組む。

4. 環境・サステナビリティ対応

廃食油・廃エンジンオイルを暖房機燃料として利用。廃プラスチックの油化技術開発。CO₂排出削減でサーキュラーエコノミー実現と地域発展に寄与。

3 対処すべき課題

① 国内市場の縮小対応

- ・労働人口減少・高齢化で市場縮小。生産性向上と国内生産基盤強化が課題。
- ・消費者ニーズの多様化。環境意識高まりやSDGs浸透への対応が必要。

② 海外での食料不足対応

- ・世界的人口増加と気候変動で栽培環境変化。良質な種苗の安定供給重要性上昇。
- ・種子生産面での気候変動リスク。地理的分散採種で供給体制盤石化が課題。

③ 食料安全保障強化

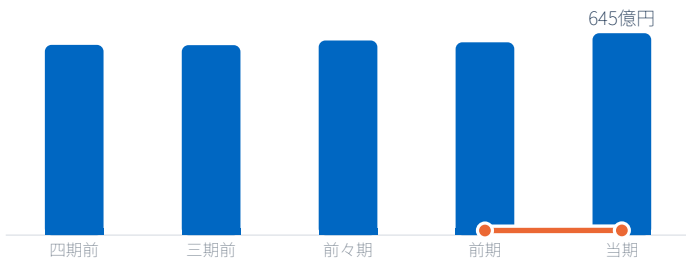
- ・過度な輸入依存からの脱却。国内生産基盤強化と自給率向上が急務。

面接で使えるポイント

- ・「大同に生きる経営」という信条のもと、社会に貢献する農業関連の総合企業として…
- ・ハイテクと国際化を基本方針に、国内ではスマート農業実装やみどりの食料システム戦略推進…
- ・廃食油・廃プラスチック油化による暖房機燃料化など、他業種連携でサーキュラーエコノミー実現とCO₂削減に貢献する環境経営。

証券コード 1376

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
645億円営業利益率
2.3%財務健康度
33点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 48.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
596万円

水産・農林業内 6位/12社

平均年齢
41.7歳

水産・農林業内 7位/12社

平均勤続
13.2年

水産・農林業内 8位/12社

女性管理職
5.2%

水産・農林業内 8位/11社

男性育休
78.0%

水産・農林業内 6位/9社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

